

ID No.	353
研究課題名	遺伝子改変マウスを用いた BST-2 の機能解明
研究代表者	安田 二郎 (長崎大学熱帯医学研究所・教授)
研究組織	
受入教員	中江 進 (東京大学医科学研究所・准教授)
研究分担者	浦田 秀造 (長崎大学熱帯医学研究所・助教)
	坂部 沙織 (長崎大学熱帯医学研究所・助教)
研究報告書	
	<p>Tetherin/BST-2ノックアウトマウス (C57BL/6系統)の作製を行い、ホモ個体 (-/-)を得た。現在、作製したノックアウトマウスを用いて①インフルエンザウイルスの増殖能・病原性、②B細胞分化への影響、を野生型と比較し、Tetherin/BST-2の個体レベルでの生理的意義の解明を試みている。</p>